

[1]

-15

[2] (1)

$$\nabla\varphi(x, y) = (y - 1, x + 2y)$$

より

$$\nabla\varphi(1, -2) = (-3, -3).$$

(2) $(2, -1)$ 方向の方向微分係数は $-\sqrt{3}/5$. $(0, 3)$ 方向の方向微分係数は -3 . したがって $(0, 3)$ 方向の方が勾配がきついと考えられる.

(3)

$$|\nabla\varphi| = \sqrt{(y-1)^2 + (x+2y)^2}$$

だから, $|\nabla\varphi| = 0$ となる x, y があればそれが求める地点となる. 実際, $y = 1, x = -2$ が求める地点.

[3] (1)

$$\nabla r = \left(\frac{x}{r}, \frac{y}{r}, \frac{z}{r} \right).$$

(2)

$$\nabla \cdot \left(\frac{\mathbf{r}}{r^2} \right) = \frac{1}{r^2}.$$

(3) 勾配の回転は零ベクトルだから

$$\nabla \times (\nabla r) = \mathbf{0}.$$

[4] (1) 加速度ベクトルは

$$\mathbf{r}''(t) = (-\pi^2 \sin \pi t, \pi^2 \cos \pi t, -2c).$$

条件

$$|\mathbf{r}''(t)| = \sqrt{\pi^4 + 4c^2} \leq 2\pi^2$$

より

$$c \leq \frac{\sqrt{3}\pi^2}{2}$$

を得る.

(2) $c = 1$ を代入して $\mathbf{r}(5)$ を求めると

$$(0, 1, -25).$$

(3) 速度ベクトル $v(t)$ から位置ベクトル $r(t)$ を与える公式

$$r(t) = r(0) + \int_0^t v(t)dt$$

を用いる . $r(0) = (0, 1, -25)$ として計算すると $r(t)$ の z 成分は

$$-\frac{51}{2} + \frac{e^{2t}}{2}.$$

したがって , z 成分が 初めて 0 になるときが求める時刻であるから

$$t = \frac{\log 51}{2}$$

を得る .